



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社コラントッテ 上場取引所 東
 コード番号 7792 URL <https://colantotte.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 小松 克巳
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理統括本部長（氏名） 井阪 義昭 (TEL) 06-6258-7350
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	2,759	19.8	660	28.8	669	29.7	445	27.0
2022年9月期第2四半期	2,303	33.6	513	26.7	516	29.5	350	30.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2023年9月期第2四半期	49.67		48.74					
2022年9月期第2四半期	39.31		38.40					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	4,501	3,064	68.1
2022年9月期	4,103	2,745	66.9

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 3,064百万円 2022年9月期 2,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2023年9月期	—	0.00			
2023年9月期(予想)			—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	11.5	1,050	10.4	1,050	9.9	680	11.4	75.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期2Q	8,980,500株	2022年9月期	8,958,900株
2023年9月期2Q	42株	2022年9月期	42株
2023年9月期2Q	8,966,932株	2022年9月期2Q	8,922,500株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和やインバウンドの増加等により社会経済活動に回復の動きが見られました。

当社が営んでいる事業につきましても、当社の強みであるスポーツ市場における行動制限の緩和等、市場環境の好転が見られたものの、ウクライナ・ロシア情勢の長期化による原油などのエネルギー資源や原材料価格の高騰、急速な円安等の為替変動の懸念などにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、「本気笑顔の実現」という経営理念の下、社会的課題である「生活の質」＝QOL(Quality Of Life)の向上に貢献するための事業を展開し、社会的価値と同時に企業価値の向上に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間につきましては、ワールド・ベースボール・クラシックへのプロモーション施策や当社契約選手によるイベントの開催、また、SNS等を活用したマーケティング活動の強化により認知度の向上に努めると共に、主要取引先との関係強化と取引拡大等、営業活動の強化に取り組みました。

このような全社での経営強化策の下、ホールセール部門につきましては、引き続きインターネットやテレビ、ラジオ等の通販業態との取引が堅調に推移したこと、また既存取引先から大口の受注があったこと等により好調に推移いたしました結果、売上高は1,926,741千円（前年同期比16.5%増）となりました。

イーコマース部門につきましては、ワールド・ベースボール・クラシックによる当社契約選手の活躍やSNS等を核としたマーケティング活動の強化による認知度向上が進み、国内での自社サイト及びECモールの自社店舗が好調に推移いたしました結果、売上高は635,742千円（前年同期比34.8%増）となりました。

リテール部門につきましては、行動制限が緩和されたこと及びマーケティング活動の強化やインバウンドの増加等により、来店客数が増加し堅調に推移いたしました。また、イオンモールナゴヤドーム前店をリニューアルオープンいたしました。その結果、売上高は197,357千円（前年同期比11.2%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高につきましては、2,759,841千円（前年同期比19.8%増）となりました。利益面につきましては、業務の効率化や徹底したコスト管理を図った結果、営業利益は660,640千円（前年同期比28.8%増）、経常利益は669,963千円（前年同期比29.7%増）、四半期純利益は445,417千円（前年同期比27.0%増）となりました。

なお、当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとみなせるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産は3,616,749千円となり、前事業年度末と比較して360,722千円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金が72,169千円、製品が82,217千円それぞれ減少した一方で、現金及び預金が404,660千円、原材料及び貯蔵品が73,301千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は885,180千円となり、前事業年度末と比較して37,305千円増加いたしました。これは主に、建物（純額）が12,546千円、その他有形固定資産が11,220千円、投資その他の資産が15,358千円それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の資産合計は4,501,929千円となり、前事業年度末と比較して398,027千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債は1,317,699千円となり、前事業年度末と比較して115,535千円増加いたしました。これは主に、電子記録債務が54,568千円、買掛金が49,639千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は119,860千円となり、前事業年度末と比較して36,412千円減少いたしました。これは主に、社債が17,500千円、長期借入金が22,500千円それぞれ減少したことによるものであります。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は1,437,559千円となり、前事業年度末と比較して79,123千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は3,064,369千円となり、前事業年度末と比較して318,904千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が302,076千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べて404,657千円増加し、1,733,020千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は673,824千円となりました。これは主に税引前四半期純利益669,963千円、減価償却費38,643千円、売上債権の減少額67,564千円、仕入債務の増加額100,951千円があったものの、法人税等の支払額236,601千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は58,604千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出50,397千円、無形固定資産の取得による支出7,197千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は210,194千円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出48,786千円、配当金の支払額143,011千円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績は予定どおり進捗しており、2022年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第2四半期会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,340,200	1,744,861
受取手形及び売掛金	647,871	575,701
電子記録債権	175,565	180,170
製品	573,049	490,831
仕掛品	244,214	248,033
原材料及び貯蔵品	152,364	225,666
その他	124,160	152,693
貸倒引当金	△1,399	△1,209
流動資産合計	3,256,026	3,616,749
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	324,250	336,797
土地	265,821	265,821
その他（純額）	55,360	66,581
有形固定資産合計	645,432	669,200
無形固定資産	47,123	45,302
投資その他の資産	155,318	170,677
固定資産合計	847,874	885,180
資産合計	4,103,901	4,501,929
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	138,090	192,659
買掛金	183,697	233,337
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	77,236	50,950
未払法人税等	251,139	244,578
賞与引当金	40,845	42,232
製品保証引当金	4,387	6,161
クーポン引当金	1,669	2,028
その他	470,096	510,750
流動負債合計	1,202,163	1,317,699
固定負債		
社債	132,500	115,000
長期借入金	22,500	—
その他	1,272	4,860
固定負債合計	156,272	119,860
負債合計	1,358,436	1,437,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,786	486,200
資本剰余金	467,786	476,200
利益剰余金	1,799,923	2,101,999
自己株式	△29	△29
株主資本合計	2,745,465	3,064,369
純資産合計	2,745,465	3,064,369
負債純資産合計	4,103,901	4,501,929

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,303,298	2,759,841
売上原価	780,134	1,020,868
売上総利益	1,523,164	1,738,972
販売費及び一般管理費	1,010,051	1,078,332
営業利益	513,112	660,640
営業外収益		
受取利息	532	0
助成金収入	2,240	28
為替差益	510	—
受取和解金	—	10,000
その他	982	468
営業外収益合計	4,265	10,497
営業外費用		
支払利息	796	430
為替差損	—	661
その他	99	82
営業外費用合計	895	1,174
経常利益	516,482	669,963
税引前四半期純利益	516,482	669,963
法人税、住民税及び事業税	164,179	227,378
法人税等調整額	1,601	△2,832
法人税等合計	165,780	224,545
四半期純利益	350,701	445,417

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	516,482	669,963
減価償却費	34,199	38,643
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,084	△190
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,717	1,387
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	74	1,774
クーポン引当金の増減額 (△は減少)	1,721	358
受取利息	△532	△0
支払利息	796	430
為替差損益 (△は益)	△444	474
売上債権の増減額 (△は増加)	△178,887	67,564
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△92,218	5,096
仕入債務の増減額 (△は減少)	41,358	100,951
受取和解金	—	△10,000
未払金の増減額 (△は減少)	△104,390	△52,464
その他	△13,970	76,877
小計	206,989	900,868
利息の受取額	532	0
利息の支払額	△836	△472
助成金の受取額	2,240	28
和解金の受取額	—	10,000
法人税等の支払額	△155,919	△236,601
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,006	673,824
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,156	△50,397
無形固定資産の取得による支出	△7,600	△7,197
その他	△939	△1,009
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,696	△58,604
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△71,000	△48,786
社債の償還による支出	△17,500	△17,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	88
リース債務の返済による支出	△985	△985
配当金の支払額	△106,804	△143,011
財務活動によるキャッシュ・フロー	△196,289	△210,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	293	△367
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△172,686	404,657
現金及び現金同等物の期首残高	1,534,024	1,328,363
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,361,338	1,733,020

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。